

<第19回 環境システム計測制御研究発表会>

全体報告

環境システム計測制御学会 企画委員長

高見澤真司(富士電機水環境システムズ(株))

第19回環境システム計測制御研究発表会ならびに見学会は、10月18日(木)・19日(金)の両日静岡市で開催されました。研究発表会は、静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ6F交流ホールにて開催され、193名の皆様の来場を頂き、活発な討議が行われ、翌日の見学会には43名の方に参加頂きました。本研究発表会は、本学会が隔年で全国各地をまわり、各地域での活動を広げる目的で開催している研究発表会で、今年は静岡県立大学環境科学研究所殿に共催いただき開催したものです。ご協力いただきました関係各位、ならびにご参加いただきました会員各位に厚く御礼申し上げます。以下、本研究発表会の全体概要についてご報告致します。

研究発表会は本研究会の実行委員長としてご尽力をいただいた静岡県立大学環境科学研究所長 岩堀恵祐先生の開会挨拶に始まりました。

続いて、研究発表 一般論文 12編について概要の口頭発表の後、パネル前での活発な ディスカッションが行われました。17回の研究発表会より始めたこの企画は比較的若い研究者が、研究の新しい芽を活発に議論する目的で、今回も大変活発な論議がなされ隔年に開催される研究会の企画として定着したと感じております。

午後からは、Iモデル・シミュレーションと広領域、II環境計測と資源・エネルギーの二セッションについて、研究発表論文とノート(査読付)の8編の口頭発表・質疑が行われました。引き続き、奨励論文の表彰式が行われ、EICA若手未来



岩堀恵祐実行委員長(静岡県立大学環境科学研究所長)ご挨拶

プロジェクトの論文を含む6編の論文が奨励論文として選考され、松井会長より賞状と記念品が手渡されました。

今年は、新しい試みとして講演の部は地元文化への寄与を目的に、静岡県民の方に広く無料開放することといたしました。講演の部は冒頭松井会長の挨拶に始まり、本研究会を共催いただきました静岡県立大学学長 西垣克先生より御来賓挨拶をいただきました。

引き続き「環境に配慮した空港建設」静岡県空港部整備室長 勝山裕之氏、「埋め立て処分場の浸出水問題ーコメントアッセイによるDNA損傷性評価ー」静岡県立大学環境科学研究所長 岩堀恵祐先生より二題のご講演を頂きました。

会場を静岡グランドホテル中島屋へ移し開催された交流会では、ご来賓、講師の諸先生と参加者が静岡のおいしい地酒や静岡割など静岡ならではの地元の産品に囲まれ、有意義な意見の交換の場となりました。

21日(金)の見学会は、JR静岡駅前を出発し午前中は「駿河湾海洋深層水関連施設」、午後は前日の研究発表会で講演いただいた「富士山静岡空港建設現場及びビジターセンター」を見学の後、JR静岡駅にて解散となりました。

今回の研究発表会でなされた様々な情報交換、議論が、来年の研究発表会へとつながれ、さらに多くの研究成果が生まれることを祈念してやみません。

